ダイワ・ブラジル・レアル債α
(毎月分配型)
−スーパー・ハイインカム−
α50コース／α100コース

運用報告書（全体版）

第54期（決算日　2019年 8 月19日）
第55期（決算日　2019年 9 月17日）
第56期（決算日　2019年10月17日）
第57期（決算日　2019年11月18日）
第58期（決算日　2019年12月17日）
第59期（決算日　2020年 1 月17日）

（作成対象期間　2019年7月18日～2020年1月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジル・レアル建債券へ投資するとともに、通貨のオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2015年１月26日～2025年１月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	α50コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ−ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α50クラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	α100コース	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ−ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α100クラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から１年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

◇SUZ03254202001l7◇

大和投資信託
Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
ＴＥＬ　０１２０−１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<3254>
<3255>

α50コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
30期末（2017年8月17日）	7,425	80	0.0	11,246	0.2	－	98.0	1,371
31期末（2017年9月19日）	7,569	80	3.0	11,667	3.7	－	94.5	1,498
32期末（2017年10月17日）	7,462	80	△ 0.4	11,696	0.3	－	99.4	1,005
33期末（2017年11月17日）	7,142	80	△ 3.2	11,353	△ 2.9	－	99.0	1,139
34期末（2017年12月18日）	7,055	80	△ 0.1	11,351	△ 0.0	－	99.5	1,168
35期末（2018年1月17日）	7,166	80	2.7	11,582	2.0	－	99.6	1,169
36期末（2018年2月19日）	6,898	80	△ 2.6	11,260	△ 2.8	－	99.2	923
37期末（2018年3月19日）	6,832	80	0.2	11,232	△ 0.3	－	99.5	820
38期末（2018年4月17日）	6,611	80	△ 2.1	10,987	△ 2.2	－	99.6	799
39期末（2018年5月17日）	6,245	80	△ 4.3	10,479	△ 4.6	－	98.5	767
40期末（2018年6月18日）	5,734	80	△ 6.9	9,955	△ 5.0	－	98.4	662
41期末（2018年7月17日）	5,751	80	1.7	10,032	0.8	－	99.1	667
42期末（2018年8月17日）	5,555	80	△ 2.0	9,834	△ 2.0	－	98.8	561
43期末（2018年9月18日）	5,078	80	△ 7.1	9,314	△ 5.3	－	86.9	477
44期末（2018年10月17日）	5,755	80	14.9	10,910	17.1	－	99.1	446
45期末（2018年11月19日）	5,737	80	1.1	11,085	1.6	－	99.1	435
46期末（2018年12月17日）	5,566	80	△ 1.6	10,840	△ 2.2	－	99.1	410
47期末（2019年1月17日）	5,531	80	0.8	11,037	1.8	－	99.0	408
48期末（2019年2月18日）	5,614	80	2.9	11,525	4.4	－	99.2	401
49期末（2019年3月18日）	5,472	80	△ 1.1	11,335	△ 1.7	－	98.8	381
50期末（2019年4月17日）	5,364	80	△ 0.5	11,169	△ 1.5	－	97.7	377
51期末（2019年5月17日）	5,089	80	△ 3.6	10,658	△ 4.6	－	98.9	380
52期末（2019年6月17日）	5,220	80	4.1	11,299	6.0	－	99.1	380
53期末（2019年7月17日）	5,336	80	3.8	11,883	5.2	－	99.2	375
54期末（2019年8月19日）	4,957	50	△ 6.2	11,082	△ 6.7	－	99.1	351
55期末（2019年9月17日）	4,922	50	0.3	11,111	0.3	－	99.0	336
56期末（2019年10月17日）	4,955	50	1.7	11,281	1.5	－	99.1	338
57期末（2019年11月18日）	4,833	50	△ 1.5	11,194	△ 0.8	－	98.9	319
58期末（2019年12月17日）	4,869	50	1.8	11,649	4.1	－	99.0	309
59期末（2020年1月17日）	4,759	50	△ 1.2	11,456	△ 1.7	－	99.1	300

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（円換算）は、ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（ブラジル・レアルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（ブラジル・レアルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

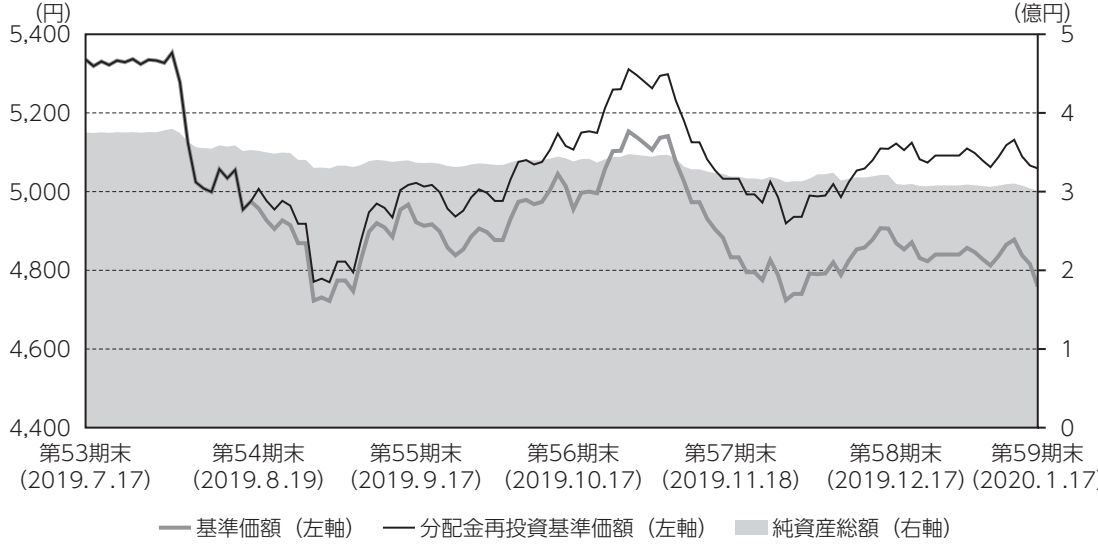
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第54期首：5,336円
第59期末：4,759円（既払分配金300円）
騰　落　率：△5.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・レアル建ての債券に投資した結果、債券の利息収入やオプションのプレミアム収入、債券価格の上昇はプラス要因となりましたが、ブラジル・レアル対円為替相場の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース

	年　　月　　日	基準価額		JPモルガンGBI-EMブロード・ブラジル(円換算)		公社債組入比率	投資信託証券受益組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第54期	(期首) 2019年７月17日	5,336	－	11,883	－	－	99.2
	７月末	5,327	△0.2	11,915	0.3	－	98.4
	(期末) 2019年８月19日	5,007	△6.2	11,082	△6.7	－	99.1
第55期	(期首) 2019年８月19日	4,957	－	11,082	－	－	99.1
	８月末	4,722	△4.7	10,578	△4.5	－	99.3
	(期末) 2019年９月17日	4,972	0.3	11,111	0.3	－	99.0
第56期	(期首) 2019年９月17日	4,922	－	11,111	－	－	99.0
	９月末	4,906	△0.3	10,997	△1.0	－	99.0
	(期末) 2019年10月17日	5,005	1.7	11,281	1.5	－	99.1
第57期	(期首) 2019年10月17日	4,955	－	11,281	－	－	99.1
	10月末	5,123	3.4	11,837	4.9	－	99.2
	(期末) 2019年11月18日	4,883	△1.5	11,194	△0.8	－	98.9
第58期	(期首) 2019年11月18日	4,833	－	11,194	－	－	98.9
	11月末	4,740	△1.9	11,161	△0.3	－	98.9
	(期末) 2019年12月17日	4,919	1.8	11,649	4.1	－	99.0
第59期	(期首) 2019年12月17日	4,869	－	11,649	－	－	99.0
	12月末	4,857	△0.2	11,677	0.2	－	99.0
	(期末) 2020年１月17日	4,809	△1.2	11,456	△1.7	－	99.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について (2019.7.18～2020.1.17)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。

2019年７月に、ブラジル中央銀行は、インフレが安定している一方で経済の足取りが弱いことを受けて、利下げを再開しました。その後、米中貿易摩擦への懸念の高まりが金利の上昇につながる場面もありましたが、年金改革法案が成立したことや、2020年１月には米中通商協議で第１弾の合意が見られる中で利下げが継続して実施されたことが金利の低下材料となりました。

■為替相場

ブラジル・レアル対円為替相場は下落しました。

2019年８月は、米中貿易摩擦への懸念の高まりを受けて、世界的なリスク回避の動きからブラジル・レアルは下落しました。その後、年金改革法案の成立によってレアルは下落幅を縮めましたが、2020年１月には、米中通商協議での第１弾の合意を受けて、ブラジルからの大豆輸出量が減少すると見込まれたことにより、レアルは下落しました。

■為替ボラティリティ相場

インプライド・ボラティリティ（※）は低下しました。

インプライド・ボラティリティは、年金改革法案が成立したことや米中通商協議で第１弾の合意に達したことなどによって低下しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レートのボラティリティ（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α50クラス）

■ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府や政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポート

フォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて (2019.7.18～2020.1.17)

■当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

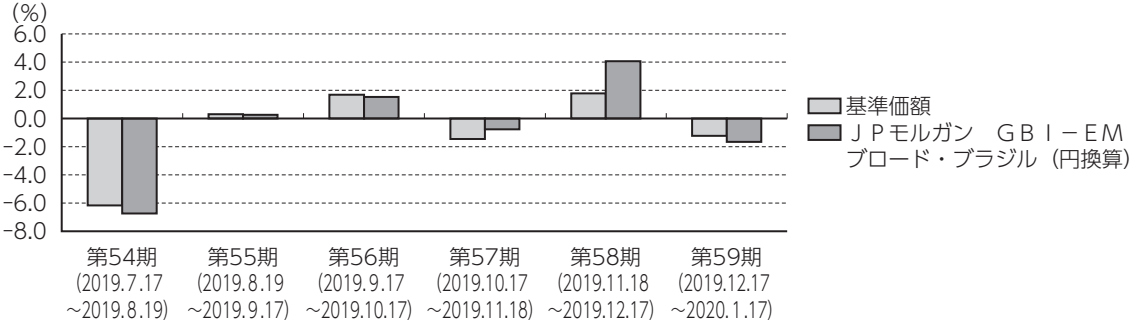
通貨カバードコール戦略（ブラジル・レアルの円に対するコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2019年7月18日～2019年8月19日	2019年8月20日～2019年9月17日	2019年9月18日～2019年10月17日	2019年10月18日～2019年11月18日	2019年11月19日～2019年12月17日	2019年12月18日～2020年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	**50**	**50**	**50**	**50**	**50**	**50**
対基準価額比率 (%)	1.00	1.01	1.00	1.02	1.02	1.04
当期の収益 (円)	50	50	50	50	46	50
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	3	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,573	2,578	2,581	2,591	2,587	2,599

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 58.09円	✓ 54.41円	✓ 52.13円	✓ 60.09円	✓ 46.25円	✓ 61.90円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,442.36	2,444.35	2,444.45	2,444.55	2,447.16	2,447.24
(d) 分配準備積立金	123.41	130.09	134.41	136.46	✓ 143.94	140.12
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	2,623.88	2,628.87	2,631.01	2,641.10	2,637.36	2,649.27
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	2,573.88	2,578.87	2,581.01	2,591.10	2,587.36	2,599.27

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府や政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

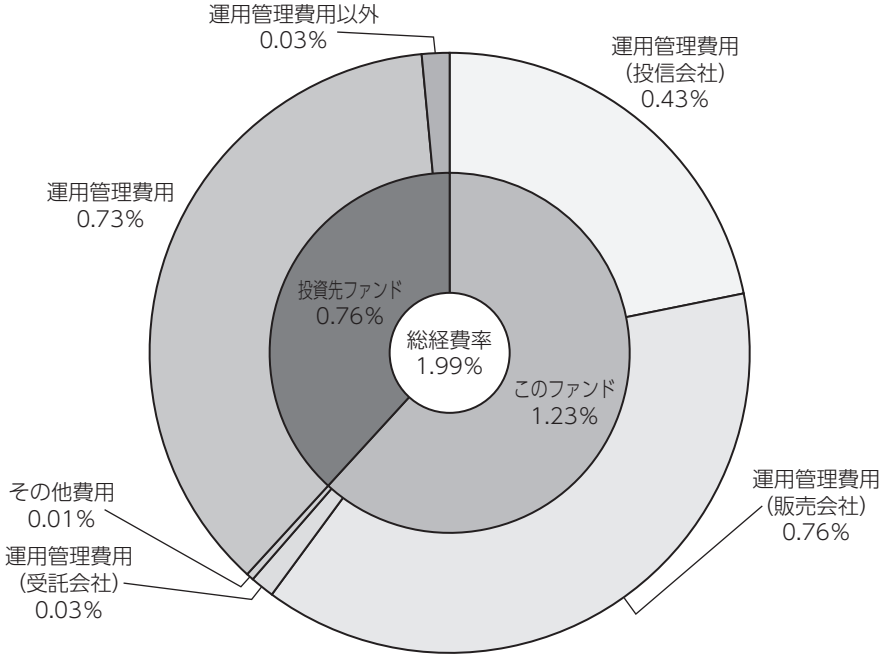
項　　目	第54期～第59期 (2019.7.18～2020.1.17)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	30円	0.617%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は4,943円です。**
（投　信　会　社）	(11)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(19)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　銀　行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.039	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(2)	(0.039)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	33	0.659	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.99%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2019年7月18日から2020年1月17日まで）

決算期	第54期～第59期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	992.88436	32,938	1,977.38842	65,468

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2019年7月18日から2020年1月17日まで）

第54期～第59期								
買付				売付				
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	254.6687	8,500	33	DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	1,977.38842	65,468	33

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第59期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券（ケイマン諸島）			
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50	9,237.27545	297,837	99.1

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第53期末	第59期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	49	49

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年1月17日現在

項目	第59期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	297,837	97.3
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	8,317	2.7
投資信託財産総額	306,205	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年８月19日)、(2019年９月17日)、(2019年10月17日)、(2019年11月18日)、(2019年12月17日)、(2020年１月17日)現在

項　　目	第 54 期 末	第 55 期 末	第 56 期 末	第 57 期 末	第 58 期 末	第 59 期 末
(A) 資産	**355,694,293円**	**344,081,431円**	**342,421,702円**	**322,770,075円**	**331,298,706円**	**308,201,116円**
コール・ローン等	7,216,497	10,567,155	7,081,589	7,077,892	6,658,953	6,321,778
投資信託受益証券(評価額)	348,427,915	333,464,400	335,290,237	315,642,312	306,625,883	297,837,472
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	49,881	49,876	49,876	49,871	49,871	49,866
未収入金	－	－	－	－	17,963,999	3,992,000
(B) 負債	**3,952,801**	**7,361,157**	**4,149,873**	**3,676,725**	**21,730,165**	**7,559,325**
未払金	－	－	－	－	8,982,000	1,996,000
未払収益分配金	3,547,589	3,420,870	3,413,645	3,301,214	3,178,676	3,158,533
未払解約金	－	3,608,738	389,700	－	9,246,750	2,067,933
未払信託報酬	402,498	326,610	339,347	365,890	311,077	323,060
その他未払費用	2,714	4,939	7,181	9,621	11,662	13,799
(C) 純資産総額(A－B)	**351,741,492**	**336,720,274**	**338,271,829**	**319,093,350**	**309,568,541**	**300,641,791**
元本	709,517,858	684,174,008	682,729,050	660,242,903	635,735,210	631,706,702
次期繰越損益金	△357,776,366	△347,453,734	△344,457,221	△341,149,553	△326,166,669	△331,064,911
(D) 受益権総口数	**709,517,858口**	**684,174,008口**	**682,729,050口**	**660,242,903口**	**635,735,210口**	**631,706,702口**
1万口当り基準価額(C／D)	**4,957円**	**4,922円**	**4,955円**	**4,833円**	**4,869円**	**4,759円**

＊第53期末における元本額は703,331,191円、当作成期間（第54期～第59期）中における追加設定元本額は26,969,859円、同解約元本額は98,594,348円です。
＊第59期末の計算口数当りの純資産額は4,759円です。
＊第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は331,064,911円です。

■損益の状況

第54期　自2019年７月18日　至2019年８月19日　　第57期　自2019年10月18日　至2019年11月18日
第55期　自2019年８月20日　至2019年９月17日　　第58期　自2019年11月19日　至2019年12月17日
第56期　自2019年９月18日　至2019年10月17日　　第59期　自2019年12月18日　至2020年１月17日

項　　目	第　54　期	第　55　期	第　56　期	第　57　期	第　58　期	第　59　期
(A) 配当等収益	**4,527,422円**	**4,052,007円**	**3,773,937円**	**4,336,121円**	**3,106,983円**	**4,236,055円**
受取配当金	4,527,659	4,052,243	3,774,115	4,336,309	3,107,095	4,236,268
受取利息	－	1	－	－	3	－
支払利息	△　237	△　237	△　178	△　188	△　115	△　213
(B) 有価証券売買損益	**△ 27,396,598**	**△ 2,614,791**	**2,244,049**	**△ 8,703,981**	**2,749,861**	**△ 7,717,382**
売買益	1	506,092	2,244,507	104,012	2,874,862	40,014
売買損	△ 27,396,599	△ 3,120,883	△　458	△ 8,807,993	△　125,001	△ 7,757,396
(C) 信託報酬等	**△　405,212**	**△　328,835**	**△　341,610**	**△　368,330**	**△　313,136**	**△　325,197**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**△ 23,274,388**	**1,108,381**	**5,676,376**	**△ 4,736,190**	**5,543,708**	**△ 3,806,524**
(E) 前期繰越損益金	**△131,644,142**	**△151,160,516**	**△153,035,963**	**△145,707,276**	**△145,394,154**	**△142,046,721**
(F) 追加信託差損益金	**△199,310,247**	**△193,980,729**	**△193,683,989**	**△187,404,873**	**△183,137,547**	**△182,053,133**
(配当等相当額)	(　173,290,354)	(　167,236,647)	(　166,890,226)	(　161,399,800)	(　155,575,162)	(　154,594,070)
(売買損益相当額)	(△372,600,601)	(△361,217,376)	(△360,574,215)	(△348,804,673)	(△338,712,709)	(△336,647,203)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△354,228,777**	**△344,032,864**	**△341,043,576**	**△337,848,339**	**△322,987,993**	**△327,906,378**
(H) 収益分配金	**△　3,547,589**	**△　3,420,870**	**△　3,413,645**	**△　3,301,214**	**△　3,178,676**	**△　3,158,533**
次期繰越損益金(G+H)	**△357,776,366**	**△347,453,734**	**△344,457,221**	**△341,149,553**	**△326,166,669**	**△331,064,911**
追加信託差損益金	△199,310,247	△193,980,729	△193,683,989	△187,404,873	△183,137,547	△182,053,133
(配当等相当額)	(　173,290,354)	(　167,236,647)	(　166,890,226)	(　161,399,800)	(　155,575,162)	(　154,594,070)
(売買損益相当額)	(△372,600,601)	(△361,217,376)	(△360,574,215)	(△348,804,673)	(△338,712,709)	(△336,647,203)
分配準備積立金	9,331,094	9,203,215	9,323,074	9,676,397	8,913,019	9,604,124
繰越損益金	△167,797,213	△162,676,220	△160,096,306	△163,421,077	△151,942,141	△158,615,902

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,122,208円	3,723,172円	3,559,713円	3,967,791円	2,940,864円	3,910,857円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	173,290,354	167,236,647	166,890,226	161,399,800	155,575,162	154,594,070
(d) 分配準備積立金	8,756,475	8,900,913	9,177,006	9,009,820	9,150,831	8,851,800
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	186,169,037	179,860,732	179,626,945	174,377,411	167,666,857	167,356,727
(f) 分配金	3,547,589	3,420,870	3,413,645	3,301,214	3,178,676	3,158,533
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	182,621,448	176,439,862	176,213,300	171,076,197	164,488,181	164,198,194
(h) 受益権総口数	709,517,858口	684,174,008口	682,729,050口	660,242,903口	635,735,210口	631,706,702口

収益分配金のお知らせ						
	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
1万口当り分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

α100コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPモルガンGBI-EMブロード・ブラジル（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
30期末（2017年8月17日）	6,688	120	0.1	11,246	0.2	－	99.2	5,939
31期末（2017年9月19日）	6,750	120	2.7	11,667	3.7	－	99.5	6,595
32期末（2017年10月17日）	6,601	120	△ 0.4	11,696	0.3	－	99.7	7,089
33期末（2017年11月17日）	6,288	120	△ 2.9	11,353	△ 2.9	－	99.2	6,950
34期末（2017年12月18日）	6,188	120	0.3	11,351	△ 0.0	－	99.4	7,311
35期末（2018年1月17日）	6,260	120	3.1	11,582	2.0	－	99.4	7,613
36期末（2018年2月19日）	6,011	120	△ 2.1	11,260	△ 2.8	－	99.3	7,485
37期末（2018年3月19日）	5,919	120	0.5	11,232	△ 0.3	－	98.0	7,525
38期末（2018年4月17日）	5,723	120	△ 1.3	10,987	△ 2.2	－	99.0	7,438
39期末（2018年5月17日）	5,381	120	△ 3.9	10,479	△ 4.6	－	98.9	7,348
40期末（2018年6月18日）	4,893	120	△ 6.8	9,955	△ 5.0	－	99.0	6,742
41期末（2018年7月17日）	4,853	120	1.6	10,032	0.8	－	98.9	7,070
42期末（2018年8月17日）	4,611	120	△ 2.5	9,834	△ 2.0	－	99.5	7,059
43期末（2018年9月18日）	4,177	120	△ 6.8	9,314	△ 5.3	－	99.1	6,430
44期末（2018年10月17日）	4,544	80	10.7	10,910	17.1	－	99.0	7,073
45期末（2018年11月19日）	4,535	80	1.6	11,085	1.6	－	99.1	6,733
46期末（2018年12月17日）	4,403	80	△ 1.1	10,840	△ 2.2	－	99.3	6,396
47期末（2019年1月17日）	4,389	80	1.5	11,037	1.8	－	98.5	6,413
48期末（2019年2月18日）	4,422	80	2.6	11,525	4.4	－	99.0	6,445
49期末（2019年3月18日）	4,311	80	△ 0.7	11,335	△ 1.7	－	98.8	6,295
50期末（2019年4月17日）	4,246	80	0.3	11,169	△ 1.5	－	99.3	6,195
51期末（2019年5月17日）	4,036	80	△ 3.1	10,658	△ 4.6	－	98.7	5,966
52期末（2019年6月17日）	4,119	80	4.0	11,299	6.0	－	99.0	6,015
53期末（2019年7月17日）	4,175	80	3.3	11,883	5.2	－	99.0	6,155
54期末（2019年8月19日）	3,911	50	△ 5.1	11,082	△ 6.7	－	99.1	5,824
55期末（2019年9月17日）	3,873	50	0.3	11,111	0.3	－	99.1	5,422
56期末（2019年10月17日）	3,936	50	2.9	11,281	1.5	－	99.2	5,250
57期末（2019年11月18日）	3,803	50	△ 2.1	11,194	△ 0.8	－	99.0	4,917
58期末（2019年12月17日）	3,763	50	0.3	11,649	4.1	－	99.1	4,771
59期末（2020年1月17日）	3,694	50	△ 0.5	11,456	△ 1.7	－	99.2	4,653

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（円換算）は、ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（ブラジル・レアルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。ＪＰモルガン　ＧＢＩ－ＥＭ　ブロード・ブラジル（ブラジル・レアルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

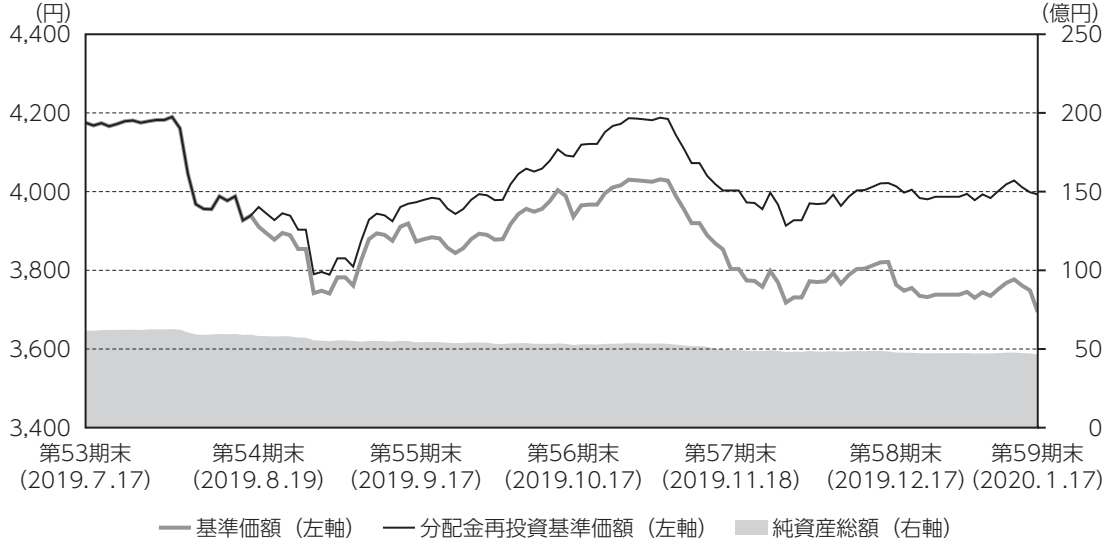
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第54期首：4,175円
第59期末：3,694円（既払分配金300円）
騰　落　率：△4.4%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ブラジル・レアル建ての債券に投資した結果、債券の利息収入やオプションのプレミアム収入、債券価格の上昇はプラス要因となりましたが、ブラジル・レアル対円為替相場の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース

	年　月　日	基準価額		JPモルガンGBI-EMブロード・ブラジル(円換算)		公社債組入比率	投資信託証券受益組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	%	%
第54期	(期首) 2019年7月17日	4,175	－	11,883	－	－	99.0
	7月末	4,182	0.2	11,915	0.3	－	99.1
	(期末) 2019年8月19日	3,961	△5.1	11,082	△6.7	－	99.1
第55期	(期首) 2019年8月19日	3,911	－	11,082	－	－	99.1
	8月末	3,741	△4.3	10,578	△4.5	－	99.0
	(期末) 2019年9月17日	3,923	0.3	11,111	0.3	－	99.1
第56期	(期首) 2019年9月17日	3,873	－	11,111	－	－	99.1
	9月末	3,893	0.5	10,997	△1.0	－	99.2
	(期末) 2019年10月17日	3,986	2.9	11,281	1.5	－	99.2
第57期	(期首) 2019年10月17日	3,936	－	11,281	－	－	99.2
	10月末	4,027	2.3	11,837	4.9	－	99.1
	(期末) 2019年11月18日	3,853	△2.1	11,194	△0.8	－	99.0
第58期	(期首) 2019年11月18日	3,803	－	11,194	－	－	99.0
	11月末	3,731	△1.9	11,161	△0.3	－	99.1
	(期末) 2019年12月17日	3,813	0.3	11,649	4.1	－	99.1
第59期	(期首) 2019年12月17日	3,763	－	11,649	－	－	99.1
	12月末	3,745	△0.5	11,677	0.2	－	98.9
	(期末) 2020年1月17日	3,744	△0.5	11,456	△1.7	－	99.2

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について (2019.7.18～2020.1.17)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。

2019年７月に、ブラジル中央銀行は、インフレが安定している一方で経済の足取りが弱いことを受けて、利下げを再開しました。その後、米中貿易摩擦への懸念の高まりが金利の上昇につながる場面もありましたが、年金改革法案が成立したことや、2020年１月には米中通商協議で第１弾の合意が見られる中で利下げが継続して実施されたことが金利の低下材料となりました。

■為替相場

ブラジル・レアル対円為替相場は下落しました。

2019年８月は、米中貿易摩擦への懸念の高まりを受けて、世界的なリスク回避の動きからブラジル・レアルは、下落しました。その後、年金改革法案の成立によってレアルは下落幅を縮めましたが、2020年１月には米中通商協議での第１弾の合意を受けて、ブラジルからの大豆輸出量が減少すると見込まれたことにより、レアルは下落しました。

■為替ボラティリティ相場

インプライド・ボラティリティ（※）は低下しました。

インプライド・ボラティリティは、年金改革法案が成立したことや米中通商協議で第１弾の合意に達したことなどによって低下しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レートのボラティリティ（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（α100クラス）

■ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府や政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポート

フォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて (2019.7.18～2020.1.17)

■当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

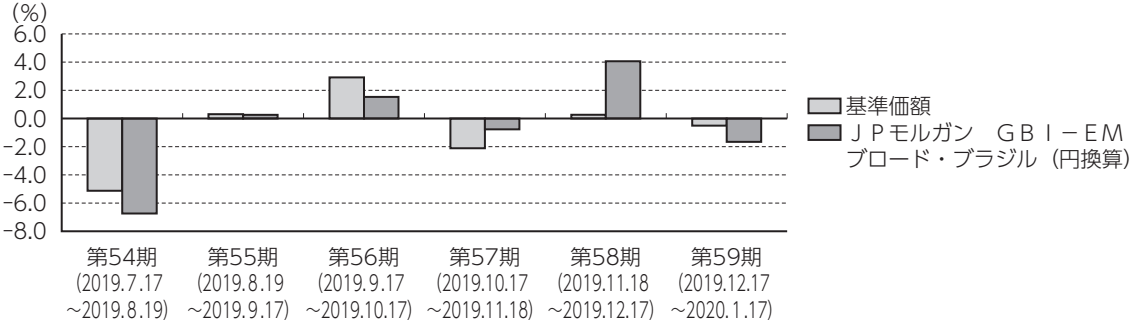
通貨カバードコール戦略（ブラジル・レアルの円に対するコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
		2019年７月18日～2019年８月19日	2019年８月20日～2019年９月17日	2019年９月18日～2019年10月17日	2019年10月18日～2019年11月18日	2019年11月19日～2019年12月17日	2019年12月18日～2020年１月17日
当期分配金（税込み）（円）		**50**	**50**	**50**	**50**	**50**	**50**
	対基準価額比率 (%)	1.26	1.27	1.25	1.30	1.31	1.34
	当期の収益 (円)	50	50	50	50	50	50
	当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)		3,714	3,734	3,750	3,777	3,786	3,814

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は、当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 73.07円	✓ 69.77円	✓ 66.31円	✓ 77.41円	✓ 58.27円	✓ 78.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	3,602.16	3,602.62	3,603.01	3,603.55	3,604.01	3,604.59
(d) 分配準備積立金	88.91	111.60	131.01	146.80	173.77	181.52
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	3,764.15	3,784.00	3,800.34	3,827.78	3,836.06	3,864.41
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	3,714.15	3,734.00	3,750.34	3,777.78	3,786.06	3,814.41

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府や政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

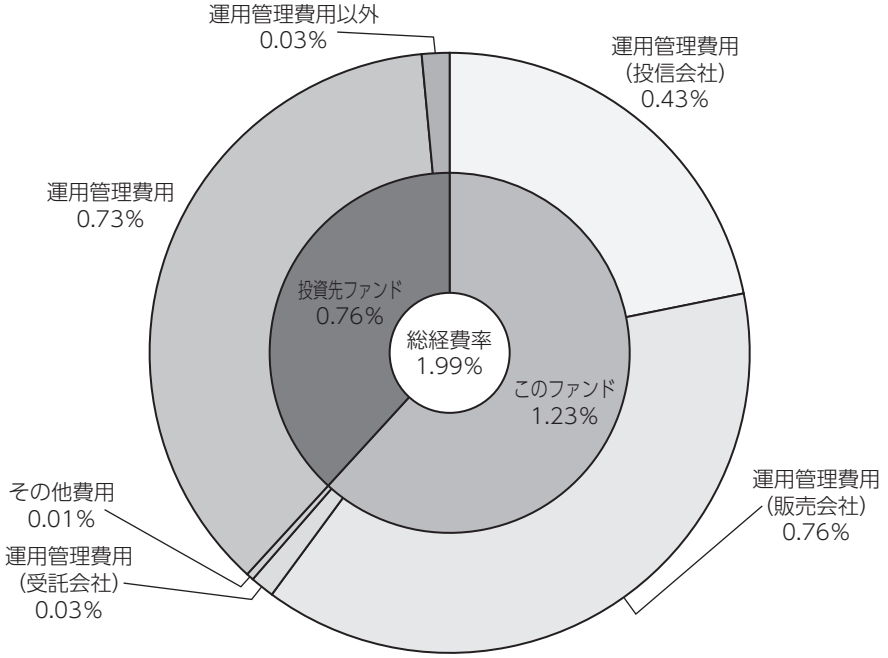
項　　目	第54期～第59期 (2019.7.18～2020.1.17)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	24円	0.615%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は3,887円です。**
（投　信　会　社）	(9)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(15)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　銀　行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.049	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(2)	(0.049)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	26	0.667	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.99%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2019年7月18日から2020年1月17日まで）

決　算　期	第 54 期 ～ 第 59 期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	33,740.97901	712,787	63,689.98421	1,330,334

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2019年7月18日から2020年1月17日まで）

第 54 期 ～ 第 59 期								
買付				売付				
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	4,453.27277	102,000	22	DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	63,689.98421	1,330,334	20

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 59 期 末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券（ケイマン諸島）			
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100	232,456.44148	4,615,887	99.2

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第53期末	第 59 期 末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	49	49

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年1月17日現在

項目	第 59 期 末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	4,615,887	97.5
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	116,741	2.5
投資信託財産総額	4,732,679	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年８月19日)、(2019年９月17日)、(2019年10月17日)、(2019年11月18日)、(2019年12月17日)、(2020年１月17日)現在

項　　目	第 54 期 末	第 55 期 末	第 56 期 末	第 57 期 末	第 58 期 末	第 59 期 末
(A) 資産	**5,990,451,901円**	**5,589,637,345円**	**5,335,879,039円**	**5,206,697,931円**	**4,909,497,822円**	**4,732,679,219円**
コール・ローン等	146,463,168	123,762,264	128,729,264	121,006,800	119,117,722	116,741,795
投資信託受益証券(評価額)	5,774,078,852	5,372,013,205	5,207,099,899	4,866,081,260	4,730,450,229	4,615,887,558
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	49,881	49,876	49,876	49,871	49,871	49,866
未収入金	69,860,000	93,812,000	－	219,560,000	59,880,000	－
(B) 負債	**166,274,934**	**167,037,154**	**85,012,205**	**289,449,125**	**137,880,578**	**79,198,885**
未払金	34,930,000	46,906,000	－	109,780,000	29,940,000	－
未払収益分配金	74,454,937	70,009,316	66,694,795	64,657,877	63,409,051	62,989,680
未払解約金	50,167,475	44,656,665	12,790,003	109,166,491	39,578,398	11,018,042
未払信託報酬	6,677,201	5,382,923	5,409,214	5,688,477	4,765,272	4,970,182
その他未払費用	45,321	82,250	118,193	156,280	187,857	220,981
(C) 純資産総額(A－B)	**5,824,176,967**	**5,422,600,191**	**5,250,866,834**	**4,917,248,806**	**4,771,617,244**	**4,653,480,334**
元本	14,890,987,460	14,001,863,387	13,338,959,120	12,931,575,581	12,681,810,297	12,597,936,181
次期繰越損益金	△ 9,066,810,493	△ 8,579,263,196	△ 8,088,092,286	△ 8,014,326,775	△ 7,910,193,053	△ 7,944,455,847
(D) 受益権総口数	**14,890,987,460口**	**14,001,863,387口**	**13,338,959,120口**	**12,931,575,581口**	**12,681,810,297口**	**12,597,936,181口**
1万口当り基準価額(C／D)	**3,911円**	**3,873円**	**3,936円**	**3,803円**	**3,763円**	**3,694円**

＊第53期末における元本額は14,742,684,511円、当作成期間（第54期～第59期）中における追加設定元本額は633,048,934円、同解約元本額は2,777,797,264円です。
＊第59期末の計算口数当りの純資産額は3,694円です。
＊第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,944,455,847円です。

■損益の状況

第54期　自2019年７月18日　至2019年８月19日
第55期　自2019年８月20日　至2019年９月17日
第56期　自2019年９月18日　至2019年10月17日
第57期　自2019年10月18日　至2019年11月18日
第58期　自2019年11月19日　至2019年12月17日
第59期　自2019年12月18日　至2020年１月17日

項　　目	第　54　期	第　55　期	第　56　期	第　57　期	第　58　期	第　59　期
(A) 配当等収益	**115,540,458円**	**103,124,792円**	**91,630,828円**	**105,841,882円**	**78,702,289円**	**103,649,901円**
受取配当金	115,545,818	103,128,053	91,634,183	105,845,050	78,704,129	103,652,875
受取利息	4	25	37	11	28	6
支払利息	△ 5,364	△ 3,286	△ 3,392	△ 3,179	△ 1,868	△ 2,980
(B) 有価証券売買損益	**△ 424,473,088**	**△ 81,314,158**	**65,419,667**	**△ 208,800,795**	**△ 61,146,760**	**△ 122,219,219**
売買益	6,065,276	14,000,842	66,198,384	4,220,595	1,163,436	393,802
売買損	△ 430,538,364	△ 95,315,000	△ 778,717	△ 213,021,390	△ 62,310,196	△ 122,613,021
(C) 信託報酬等	**△ 6,722,522**	**△ 5,419,852**	**△ 5,445,550**	**△ 5,726,564**	**△ 4,797,027**	**△ 5,003,306**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**△ 315,655,152**	**16,390,782**	**151,604,945**	**△ 108,685,477**	**12,758,502**	**△ 23,572,624**
(E) 前期繰越損益金	**△ 2,639,366,628**	**△ 2,838,740,366**	**△ 2,747,793,870**	**△2,572,413,591**	**△2,685,719,700**	**△2,710,376,753**
(F) 追加信託差損益金	**△ 6,037,333,776**	**△ 5,686,904,296**	**△ 5,425,208,566**	**△5,268,569,830**	**△5,173,822,804**	**△5,147,516,790**
(配当等相当額)	(5,363,981,650)	(5,044,341,394)	(4,806,050,007)	(4,659,962,776)	(4,570,543,303)	(4,541,043,025)
(売買損益相当額)	(△11,401,315,426)	(△10,731,245,690)	(△10,231,258,573)	(△9,928,532,606)	(△9,744,366,107)	(△9,688,559,815)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△ 8,992,355,556**	**△ 8,509,253,880**	**△ 8,021,397,491**	**△7,949,668,898**	**△7,846,784,002**	**△7,881,466,167**
(H) 収益分配金	**△ 74,454,937**	**△ 70,009,316**	**△ 66,694,795**	**△ 64,657,877**	**△ 63,409,051**	**△ 62,989,680**
次期繰越損益金(G+H)	**△ 9,066,810,493**	**△ 8,579,263,196**	**△ 8,088,092,286**	**△8,014,326,775**	**△7,910,193,053**	**△7,944,455,847**
追加信託差損益金	△ 6,037,333,776	△ 5,686,904,296	△ 5,425,208,566	△5,268,569,830	△5,173,822,804	△5,147,516,790
(配当等相当額)	(5,363,981,650)	(5,044,341,394)	(4,806,050,007)	(4,659,962,776)	(4,570,543,303)	(4,541,043,025)
(売買損益相当額)	(△11,401,315,426)	(△10,731,245,690)	(△10,231,258,573)	(△9,928,532,606)	(△9,744,366,107)	(△9,688,559,815)
分配準備積立金	166,760,472	183,956,829	196,521,454	225,302,178	230,872,052	264,335,852
繰越損益金	△ 3,196,237,189	△ 3,076,315,729	△ 2,859,405,174	△2,971,059,123	△2,967,242,301	△3,061,274,909

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	108,817,934円	97,704,940円	88,453,894円	100,115,318円	73,905,262円	98,646,594円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,363,981,650	5,044,341,394	4,806,050,007	4,659,962,776	4,570,543,303	4,541,043,025
(d) 分配準備積立金	132,397,475	156,261,205	174,762,355	189,844,737	220,375,841	228,678,938
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	5,605,197,059	5,298,307,539	5,069,266,256	4,949,922,831	4,864,824,406	4,868,368,557
(f) 分配金	74,454,937	70,009,316	66,694,795	64,657,877	63,409,051	62,989,680
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	5,530,742,122	5,228,298,223	5,002,571,461	4,885,264,954	4,801,415,355	4,805,378,877
(h) 受益権総口数	14,890,987,460口	14,001,863,387口	13,338,959,120口	12,931,575,581口	12,681,810,297口	12,597,936,181口

収益分配金のお知らせ						
	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
1万口当り分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド
α50クラス／α100クラス

当ファンド（ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド α50クラス／α100クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年1月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

純資産計算書
2019年5月31日

資産	
金融資産（損益通算後の評価額）	$ 58,172,553
現金および現金同等物	1,394,735
未収：	
売却済み証券	625
利息	－
資産合計	59,567,913
負債	
金融負債（損益通算後の評価額）	413,037
未払：	
購入済み証券	92,146
受益証券の買戻し	92,102
保管会社報酬	21,058
報酬代行会社報酬	19,362
専門家報酬	18,038
副投資運用会社報酬	12,198
管理会社報酬	7,593
受託会社報酬	2,546
名義書換代理人報酬	2,003
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	680,083
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	$ 58,887,830

包括利益計算書
2019年５月31日に終了した年度

収益	
受取利息	$ 4,638,696
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現損益	(6,762,869)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価損益の純変動	5,287,847
外国為替取引による純実現損益	2,739
外国為替換算による評価損益の純変動	4,525
（損失）／収益合計	3,170,938
費用	
副投資運用会社報酬	156,868
報酬代行会社報酬	125,495
保管会社報酬	122,911
管理会社報酬	45,221
専門家報酬	17,783
名義書換代理人報酬	12,626
受託会社報酬	10,000
登録料	695
費用合計	491,599
金融費用控除前営業（損失）／利益	**2,679,339**
金融費用	
償還可能受益証券の所有者への分配金	(14,993,732)
源泉徴収税	(527,721)
運用の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額	**$ (12,842,114)**

投資明細表
2019年5月31日

債券	
ブラジル	
NOTA DO TESO 10% 01/01/23/BRL/	$ 9,398,517.01
NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/	10,584,529.94
LETRA TESOUR ZCP 07/01/20/BRL/	16,383,774.14
LETRA TESOUR ZCP 01/01/20/BRL/	1,478,226.55
NOTA DO TESO 10% 01/01/25/BRL/	4,886,192.78
LETRA TESOUR ZCP 07/01/23/BRL/	3,196,576.74
LETRA TESOUR ZCP 07/01/21/BRL/	12,244,736.10
ブラジル合計	**58,172,553.26**
債券合計	**58,172,553.26**

仕組スワップ契約

α100クラス - 2019年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：（純資産の-0.7%）

戦略	満期日	取引相手		名目元本		評価額
FX Option Overlay	2019/6/5	Credit Suisse International	$	54,670,047	$	(400,513)

α50クラス - 2019年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：（純資産の-0.0%）

戦略	満期日	取引相手		名目元本		評価額
FX Option Overlay	2019/6/5	Credit Suisse International	$	3,419,121	$	(12,524)

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2019年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第59期の決算日（2020年１月17日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年７月18日～2020年１月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年１月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書　第８期（決算日　2019年12月９日）

（作成対象期間　2018年12月11日～2019年12月９日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

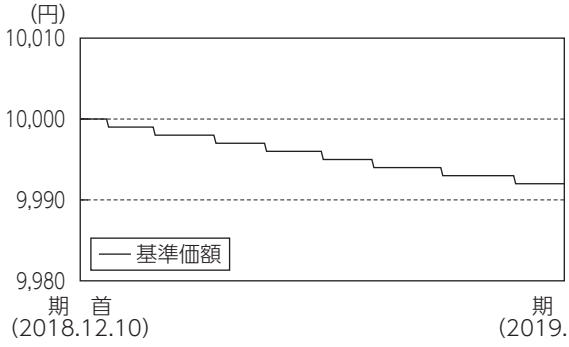
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,000	−	−
12月末	10,000	0.0	−
2019年 1 月末	9,999	△0.0	−
2 月末	9,998	△0.0	−
3 月末	9,997	△0.0	−
4 月末	9,997	△0.0	−
5 月末	9,996	△0.0	−
6 月末	9,995	△0.1	−
7 月末	9,994	△0.1	−
8 月末	9,994	△0.1	−
9 月末	9,993	△0.1	−
10月末	9,993	△0.1	−
11月末	9,992	△0.1	−
(期末)2019年12月 9 日	9,992	△0.1	−

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,000円　期末：9,992円　騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	−円
有価証券取引税	−
その他費用	2
(その他)	(2)
合計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	40,000	− (40,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当期				
買付			売付	
銘柄	金額		銘柄	金額
	千円			千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	40,000			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月９日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	7,324,100	100.0
投資信託財産総額	7,324,100	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月９日現在

項目	当期末
(A) 資産	**7,324,100,953円**
コール・ローン等	7,324,100,953
(B) 負債	**44,082**
その他未払費用	44,082
(C) 純資産総額(A－B)	**7,324,056,871**
元本	7,329,994,437
次期繰越損益金	△ 5,937,566
(D) 受益権総口数	**7,329,994,437口**
１万口当り基準価額(C／D)	**9,992円**

＊期首における元本額は9,018,625,641円、当作成期間中における追加設定元本額は4,065,530,242円、同解約元本額は5,754,161,446円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年２回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年２回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワＤＢモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）6,592,748円、ダイワＤＢモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）10,288,683円、ダイワ／バリュー・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド10,000円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジあり（年１回決算型）4,995円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジなし（年１回決算型）4,995円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－　α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－　α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ118,909,472円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver６－　1,052,878,511円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver７－　1,327,444,782円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver４－　858,767,992円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver５－　3,405,863,412円、ダイワ円債セレクト　マネーコース504,712,528円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース1,490,665円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース497,633円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース994,307円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース397,742円、ダイワ世界インカム・ハンター（年２回決算型）為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター（年２回決算型）為替ヘッジなし100,789円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジあり（毎月分配型）1,235円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジなし（毎月分配型）1,598円、通貨選択型　ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　日本円コース（毎月分配型）1,544円、通貨選択型ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　通貨セレクトコース（毎月分配型）1,984円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は9,992円です。

＊当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,937,566円です。

■損益の状況

当期　自2018年12月11日　至2019年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△4,832,170円**
受取利息	2,318
その他収益金	4
支払利息	△4,834,492
(B) その他費用	**△1,752,564**
(C) 当期損益金(A＋B)	**△6,584,734**
(D) 前期繰越損益金	**119,826**
(E) 解約差損益金	**2,559,971**
(F) 追加信託差損益金	**△2,032,629**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**△5,937,566**
次期繰越損益金(G)	**△5,937,566**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。